

静岡県農林水産業の概要

特徴・取組

静岡県は東西約155km、南北約118km、約7,777km²の面積を有し、南側には太平洋に面する約500kmの海岸線を、北側には3,000m級の山々からなる山岳地帯を有している。平年値をみると、平均気温は概ね16～17℃と温暖で、降水量は1,800～2,300mmと、全般的に温暖な海洋性気候である。冬は乾燥した晴天の日が多く、雪は平地ではあまり降らない。

産業構造は、県内総生産（令和4年度：18兆8,590億円）を産業別にみると、第1次産業が1,214億円（0.6%）、第2次産業が8兆3,008億円（44.0%）、第3次産業が10兆4,395億円（55.4%）となっている。

農業では、代表的な農産物である茶とみかんのほかにも温室メロンやいちご、ガーベラ等、多種多様な農産物が栽培されている。林業では、天竜川流域のスギやヒノキ、伊豆地域の広葉樹林など、豊かで多彩な森林が広がり、わさびやきのこの生産も盛んである。水産業では、かつお、まぐろ、しらす、さくらえび、きんめだい、内水面でのうなぎ、にじますの養殖など、多種多様な水産物が水揚げ・生産されており、水産加工業も盛んである。

全国や海外に誇りうる価値や特長を備えた県産農林水産物を「しずおか食セレクション（頂）」として認定し、県産農林水産物の魅力を活かした新しい加工品を「ふじのくに新商品セレクション」として表彰するなど、「食の都」づくりを進めている。

また、県内の多彩で高品質な食材と文化・観光資源を活かし「ガストロノミーツーリズム」（静岡の気候風土に育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れる旅）を推進している。

- ・世界農業遺産として、平成25年5月に「静岡の茶草場（ちゃぐさば）農法」、平成30年3月に「静岡水わさびの伝統栽培」が認定されている。
- ・特色ある食文化を活用して訪日外国人観光客の誘致に取り組む「SAVOR JAPAN（農泊 食文化海外発信地域）」として、大井川地域や浜松・浜名湖地域、富士山麓・伊豆半島地域が認定されている。
- ・地理的表示（GI）保護制度については、平成28年10月に「三島馬鈴薯」、平成29年6月に生の「田子の浦しらす」、令和2年11月に「西浦みかん寿太郎」、令和3年3月に釜揚げした「田子の浦しらす」、令和5年3月に「深蒸し菊川茶」が登録産品となり、令和5年11月には静岡県の清酒も登録された。

主な農林水産物

茶

県内各地に有名産地があり、様々なブランド茶が生産されている。県の海外向け重点品目。
（生産量全国1位（荒茶））



ガーベラ（切り花類）

全国の出荷量の約4割を占める大産地。花卉が大きく華やかで色の種類や品種数が多い。
（出荷量全国1位）



温室メロン

メロンの中でも最高級品である温室メロンは収穫量日本一。ガラス温室で栽培されている。県の海外向け重点品目。
（収穫量全国1位）



鶏卵

富士山麓地域に大規模養鶏場があり、県内における農業産出額はみかんに次いで第2位。
（産出額全国12位）



しらす

漁場と市場が近いので鮮度が良く、「生しらす」としても出荷されている。
（漁獲量全国3位）



みかん

温暖な気候を生かした柑橘類の栽培が盛んで、青島みかんなどが栽培されている。
（収穫量全国3位）



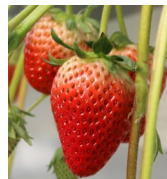
わさび（根茎）

わさび栽培発祥の地で、産出額は全国1位。澄んだ辛味と清らかな香りが持ち味。県の海外向け重点品目。
（生産量全国1位（根茎））



いちご

静岡県生まれの品種「紅ほっぺ」「きらび香」が主に生産されている。県の海外向け重点品目。
（収穫量全国5位）



かつお・まぐろ類

遠洋漁業や沖合漁業で獲れたかつおやまぐろが水揚げされ、加工品の原料としても利用されている。
（かつお類：漁獲量全国1位）
（まぐろ類：漁獲量全国2位）



さくらえび

国内では駿河湾だけで漁獲される特産品である。
（漁獲量全国1位）



静岡県内の各地域における農林水産物

西部地域

【農産物】茶、みかん、ガーベラ(切り花類)、ちんげんさい、セルリー、菊(切り花類)、ばれいしょ、たまねぎ、葉ネギ、かんしょ、ネーブルオレンジ、みつば、切り枝(切り花類)、切り葉(切り花類)、観葉植物(鉢もの類)

【林産物】しいたけ

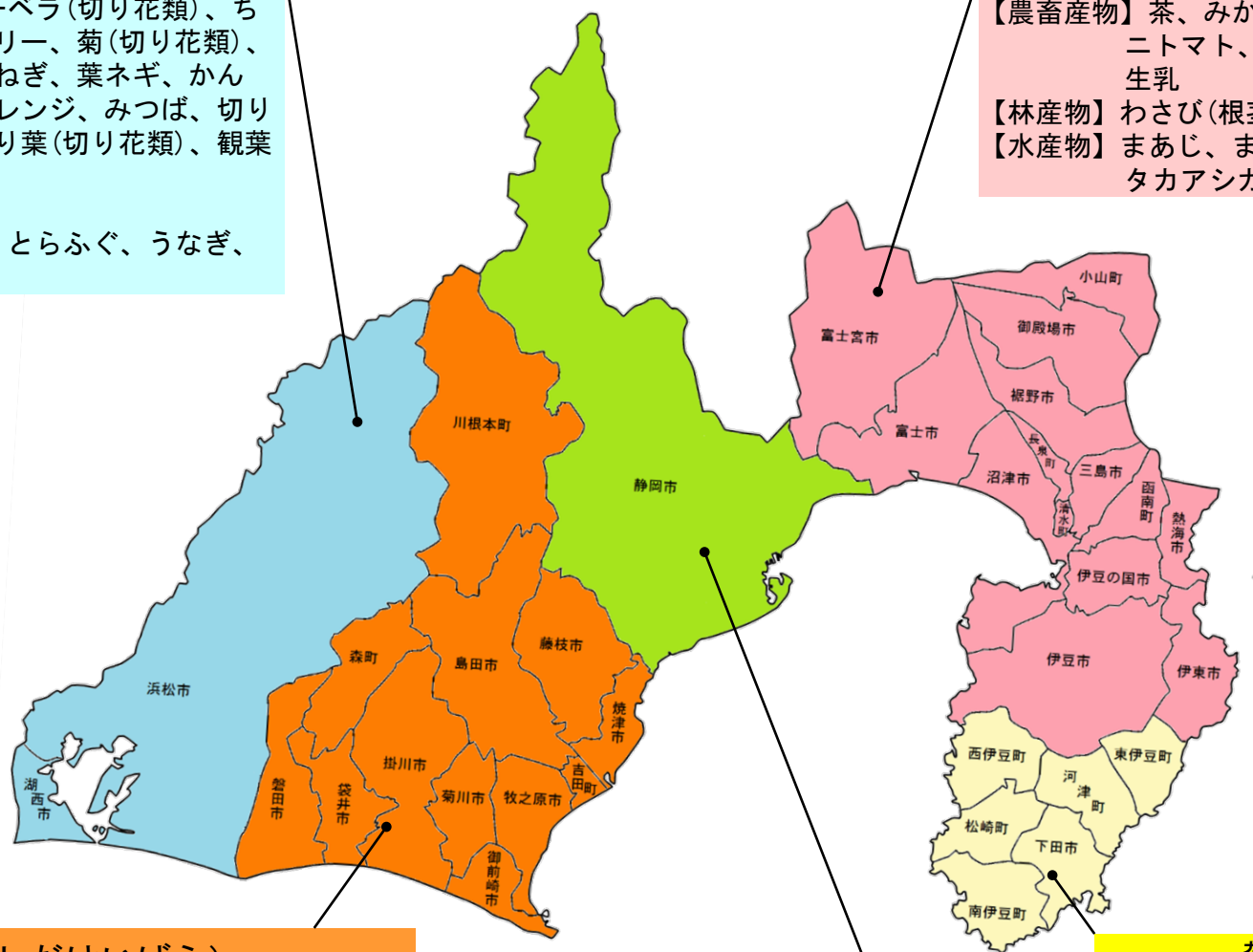
【水産物】あさり、しらす、とらふぐ、うなぎ、生のり類(養殖)

富士・東部地域

【農畜産物】茶、みかん、水稻、いちご、トマト、ミニトマト、ばれいしょ(三島馬鈴薯)、鶏卵、生乳

【林産物】わさび(根茎、葉柄)、しいたけ

【水産物】まあじ、まだい、にじます(養殖)、しらす、タカアシガニ



志太榛原(しだはいばら) ・中遠(ちゅうえん)地域

【農産物】茶、水稻、いちご、温室メロン、トマト、レタス、しそ、ガーベラ(切り花類)、ちんげんさい、ばら(切り花類)、トルコギキョウ(切り花類)、観葉植物(鉢もの類)、花木類(鉢もの類)

【林産物】しいたけ

【水産物】かつお、まぐろ、しらす、とらふぐ、うなぎ

中部地域

【農産物】茶、みかん、いちご、ばら(切り花類)、洋ラン類(切り花類、鉢もの類)

【林産物】わさび(根茎、葉柄)

【水産物】まぐろ、さくらえび、しらす

賀茂(かも)地域

【農産物】マーガレット(切り花類)、カーネーション(切り花類)、ヒュウガナツ(日向夏)

【林産物】わさび(根茎、葉柄)

【水産物】いせえび、てんぐさ、きんめだい

出典:「静岡県の農林水産業」(静岡県)、
「静岡県産農芸品カタログ『食材の王国』」(JA静岡経済連)を基に作成

静岡県 の 農 業 (1)

- ・ 耕地面積は5万9,400haで全国22位。うち田が2万1,300ha、畑が3万8,100ha。
- ・ 農業経営体数は2万5,938経営体で全国20位。うち法人経営体が634経営体で21位。
- ・ 認定農業者数は4,580経営体で全国20位。うち法人数が582法人で20位。

耕地面積

区 分	静岡県	全 国	全国順位
耕地面積	59,400 ha	4,297,000 ha	22
田	21,300 ha	2,335,000 ha	36
畑	38,100 ha	1,962,000 ha	11
普通畑	14,400 ha	1,120,000 ha	19
樹園地	22,600 ha	253,500 ha	1
牧草地	1,140 ha	589,000 ha	15
参考) 総土地面積	777,707 ha	37,797,539 ha	13

出典:「令和5年耕地面積(7月15日現在)」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	静岡県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	6,761 ha	253,217 ha	16

出典:「令和4年度の荒廃農地面積(令和5年3月31日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	静岡県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	26,958 ha	2,573,672 ha	23
集積率	44.6 %	59.5 %	21

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和4年度版)」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」: 単位に満たないもの(例: 0.4t→0t)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
農業経営体数	25,938 経営体	1,075,705 経営体	20
法人経営体	634 経営体	30,707 経営体	21
総農家数	50,736 戸	1,747,079 戸	9
販売農家	24,426 戸	1,027,892 戸	20
参考) 世帯総数	1,483,472 世帯	55,830,154 世帯	10
集落営農数	30 集落営農	14,204 集落営農	40

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和5年集落営農実態調査結果(令和5年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	38,720 人	1,363,038 人	13
男	22,161 人	822,144 人	17
女	16,559 人	540,894 人	11
65歳以上	27,326 人	948,621 人	13
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	70.6 %	69.6 %	-
認定農業者数	4,580 経営体	219,846 経営体	20
法人数	582 法人	28,720 法人	20
参考) 総人口数	3,633,202 人	126,146,099 人	10

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和5年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

静岡県 の 農 業 (2)

- ・農業産出額は2,132億円で全国15位。うち野菜が624億円（29.3%）、果実が299億円（14.0%）、畜産が543億円（25.5%）。
- ・農畜産物の生産状況は、茶（荒茶）、ガーベラ、切り枝が全国1位、茶（生葉）、セルリー、ちんげんさい、観葉植物（鉢もの類）等が2位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が547億円で全国4位、事業体数は1,420事業体で2位。

農業産出額

区 分	静岡県	全国	全国順位
農業産出額	2,132 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	15
米	168 億円 (7.9)	13,946 億円 (15.5)	30
麦類	x 億円	647 億円	- *
雑穀	0 億円	83 億円	31
豆類	0 億円	715 億円	41
いも類	32 億円	2,199 億円	9
野菜	624 億円 (29.3)	22,298 億円 (24.8)	14
果実	299 億円 (14.0)	9,232 億円 (10.3)	9
花き	174 億円	3,493 億円	4
工芸農作物	132 億円	1,551 億円	4
その他作物	x 億円	607 億円	- *
畜産	543 億円 (25.5)	34,678 億円 (38.5)	17
肉用牛	85 億円	8,257 億円	24
乳用牛	103 億円	9,013 億円	13
生乳	96 億円	7,916 億円	13
豚	64 億円	6,713 億円	24
鶏	254 億円	9,716 億円	15
鶏卵	214 億円	5,638 億円	12
ブロイラー	32 億円	3,940 億円	20 *
その他畜産物	36 億円	979 億円	2
加工農産物	112 億円	565 億円	2

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	静岡県	全 国	全国順位
茶（生葉）	収穫量	R5	122,000 t	320,000 t	2
茶（荒茶）	生産量	R5	27,200 t	68,000 t	1
セルリー	収穫量	R4	5,280 t	29,300 t	2 *
ちんげんさい	収穫量	R4	7,070 t	40,100 t	2
いちご	収穫量	R4	10,400 t	161,100 t	5
みかん	収穫量	R5	99,800 t	681,600 t	3
ばら	出荷量	R4	17,900 千本	188,700 千本	2
ガーベラ	出荷量	R4	51,700 千本	121,800 千本	1
切り枝	出荷量	R4	32,700 千本	202,100 千本	1
観葉植物（鉢もの類）	出荷量	R4	5,270 千鉢	40,800 千鉢	2

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
農産加工	総額 54,731 百万円 事業体数 1,420 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	4 2
農産物直売所	総額 41,968 百万円 事業体数 1,060 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	7 3
観光農園	総額 1,669 百万円 経営体数 180 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	6 10
農家民宿	総額 47 百万円 経営体数 20 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	22 * 16 *
農家レストラン	総額 701 百万円 事業体数 40 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	23 * 7 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

静岡県 林業

- ・林業産出額は126.8億円で全国12位。うち木材生産が58.9億円、栽培きのこ類生産が66.9億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国21位、わさび（根茎）が全国1位、まいたけが2位、ぶなしめじが5位、ひのきが6位。

林業産出額

区 分	静岡県	全 国	全国順位
林業産出額	126.8 億円	5,806.6 億円	12
木材生産	58.9 億円	3,604.6 億円	18 *
栽培きのこ類生産	66.9 億円	2,079.5 億円	6

出典：「令和4年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	静岡県	全 国	全国順位
素材生産量	332 千m ³	22,082 千m ³	21 *
針葉樹	330 千m ³	20,386 千m ³	20
すぎ	156 千m ³	13,238 千m ³	20
ひのき	166 千m ³	2,971 千m ³	6
広葉樹	2 千m ³	1,696 千m ³	40 *
わさび（根茎）	生産量 223 t	377 t	1
ひらたけ	生産量 36 t	4,501 t	8 *
ぶなしめじ	生産量 3,158 t	122,840 t	5 *
まいたけ	生産量 4,996 t	56,763 t	2 *

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	静岡県	全 国	全国順位
林野面積	493,121 ha	24,770,201 ha	16
国有林	85,325 ha	7,153,338 ha	16
民有林	407,796 ha	17,616,863 ha	16
人工林面積	278,162 ha	10,133,111 ha	10

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
工場数	144 工場	3,804 工場	4
製材用素材の入荷があった工場数	143 工場	3,778 工場	4
国産材のみ	106 工場	3,054 工場	8
国産材と輸入材	28 工場	560 工場	3

出典：「令和4年木材需給報告書」

林業経営体数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
林業経営体数	837 経営体	34,001 経営体	16
法人経営体	103 経営体	4,093 経営体	14

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

静岡県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は439億円で全国9位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のかつお類が全国1位、まぐろ類が2位、しらすが3位、海面養殖業のまあじが1位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が4億円で全国3位、経営体数は60経営体数で2位。

漁業産出額

区 分	静岡県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	439 億円	14,372 億円	9

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,200 経営体	79,067 経営体	14
内水面漁業経営体数	120 経営体	4,772 経営体	11

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁業就業者数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	4,814 人	151,701 人	11
男	4,635 人	134,186 人	9
女	179 人	17,515 人	20

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁船隻数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
漁船隻数	3,079 隻	132,201 隻	18
動力漁船	1,917 隻	69,920 隻	14

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

水産物の生産状況

区 分	静岡県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	149,617 t	3,862,831 t	4 *
海面漁業漁獲量	147,231 t	2,950,992 t	5
まぐろ類	18,901 t	122,299 t	2 *
かつお類	57,804 t	197,107 t	1
しらす	3,691 t	42,180 t	3 *
海面養殖業収獲量	2,386 t	911,839 t	24 *
まあじ	225 t	542 t	1 *
まだい	1,104 t	68,088 t	9 *
内水面漁業・養殖業生産量	3,421 t	54,115 t	6 *
内水面漁業漁獲量	1 t	22,612 t	40
内水面養殖業収獲量	3,420 t	31,503 t	4 *
うなぎ	2,365 t	19,167 t	4 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
水産加工	総額 1,190 百万円 事業体数 50 事業体	181,820 百万円 1,460 事業体	24 * 7 *
水産物直売所	総額 1,284 百万円 事業体数 40 事業体	37,410 百万円 840 事業体	8 * 6 *
漁家民宿	総額 449 百万円 経営体数 60 経営体	5,986 百万円 740 経営体	3 * 2 *
漁家レストラン	総額 606 百万円 事業体数 40 事業体	11,598 百万円 420 事業体	10 * 1 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

静岡県の農林水産業の話題等

静岡県の清酒を地理的表示（GI）に指定

令和5年11月、国税庁は、静岡県の清酒を国の地理的表示（GI）保護制度の対象に指定。酒類では県内初のGI指定で、清酒としての都道府県単位の登録は9例目となった。生産基準として、国内産の米や米こうじを使用すること、県内で採水した水のみを使用すること、発酵に用いる酵母は「静岡酵母」とすることなどを定めた。令和6年1月、静岡県酒造協同組合は、公募で集めた中から採用した「GI静岡」のロゴマークを公表した。ロゴマークは「富士山と原料に使う米、静岡の海と、日本を象徴する日の丸を背景に」をコンセプトにデザインされ、これを認定された清酒の瓶に貼り付け、ブランド力向上と需要拡大を目指す。



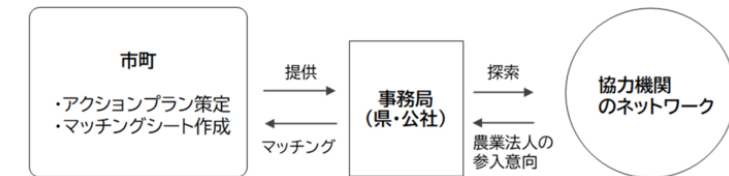
静岡県の清酒の一例

写真・画像提供：静岡県酒造組合



農業法人の戦略的誘致に向けて

令和5年5月、静岡県は、農業法人を戦略的に誘致するため、県内市町及び（公社）静岡県農業振興公社等が参画する「静岡県農業法人誘致推進連絡会」を設立。誘致は、戦略に基づき市町が農地情報や誘致活動方針などを示したアクションプランを策定。それをもとに連絡会の事務局である県と農業振興公社が協力機関のネットワークを活用し、農業法人の探索・マッチングを行う。令和6年2月末時点では、裾野市と焼津市の2市でマッチングが成立しており、裾野市では群馬県でキャベツを主に生産する農業法人、焼津市では山梨県でレタスなどを生産する農業法人が営農を開始している。県、農業振興公社は、連絡会の協力機関である金融機関と、農業法人誘致推進に向けた連携協力の覚書を結んでおり、今後さらに農業法人誘致を加速させていく。



市町と農業法人とのマッチングのイメージ
画像提供：静岡県

菊川市と佐川急便(株)が協定を締結。菊川茶の海外販路拡大へ

令和5年12月、菊川市と佐川急便(株)は「菊川茶海外輸出戦略に関する協定」を締結した。地方創生テクノロジーラボ主催の「首長LIVE」で、菊川市長がGIに登録された深蒸し菊川茶の海外需要拡大への課題について発信したことがきっかけ。この発信を視聴していた佐川急便(株)から菊川市へ声掛けがあり、課題解決に向けての協議を重ね本協定の締結に至った。取組内容としては、「SAGAWAタウンサポート」の海外販路サポートを利用するもので、佐川急便(株)とAlibaba(株)は、海外販路開拓支援に関する協定を締結していることから、専用サイトへの出展、海外出品翻訳・商談、海外商品輸送、商品代金回収などの支援を行う。令和6年1月には、「菊川茶海外輸出推進協議会」を設立し、海外輸出や有機栽培により新たな販路開拓や生産・経営体制の再構築を行うことで、将来にわたり安定的な菊川茶の生産を図っていく。



菊川市と佐川急便株式会社との
「菊川茶海外輸出戦略に関する協定」締結式
写真提供：菊川市